

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより令和5年度

令和5年10月31日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

実りの秋、芸術の秋を迎えて

学校や周辺の木々の葉が濃く色づき、ススキの穂が風になびくなど、少しずつ秋が深まってきました。秋晴れが続いて、昼間と朝晩の気温差が大きく、体調を崩しがちです。風邪やインフルエンザのお休みも増えています。日常の体調管理に留意して、2学期後半の学校生活を充実させてまいります。保護者の皆さま、地域の皆さまには、引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

校庭や通学路などでは、「実りの秋」を実感する季節になりました。ドングリなどの木の実を拾って登校する子供たちがたくさんいる中で、イチョウの実・銀杏を踏まないように避けて歩く子供たちも見られます。体育館側にある柿の木に実ったオレンジ色の実を鳥たちがつついています。

1年生が毎朝水やりをしていたアサガオは、花が咲く時季が終わって、種を包んだ果実部分が乾いて割れ始めました。5年生が田植えをした苗は順調に育って、稲刈りと脱穀の作業を終えました。

その他にも植物の実りをたくさん見ることができる自然豊かな環境で、学校生活においては、学習面や生活面での成長によって得られた実りを確かめ合う期間でもあります。

特に学習面では、これまでに各教科・領域の学習で習得した基本事項を活用し、学習したことをまとめて発表したり、校外に出かけて実物を見たり触れたりする学習活動を展開します。すでに、今学期の学校公開の際に、学習の成果を個人やグループごとに発表した学年があります。また、校外学習や社会科学見学に出かけて、教室での学びをさらに深めている学年もあります。このように、できるようになったことやわかったことなどを個人や学級・学年、学校全体で振り返ります。

教育活動の「実り」である日ごろの学習の成果を披露する場として学校行事があります。貝取小学校の学校行事では、秋のこの時期に学会や学習発表会、展覧会などの文化的行事を隔年交互に実施してきました。今年度は展覧会を開催します。来年度は学習発表会の予定です。

展覧会では、主に図工の授業において水彩絵の具・その他の画材等で作成した平面作品やいろいろな材料と道具を用いて作った立体作品を展示します。

展覧会会場の体育館では、学年ごとの展示スペースのほか、きょうだい学年である1・6年、2・5年、3・4年ごとの共同作品、全校児童の共同作品を展示し、きょうだい学年ごとに鑑賞日を設定するなど異学年交流の機会を大事にしています。クラブ活動でプログラムの制作や会場入り口の装飾に取り組んだり、展覧会実行委員の6年生が全校共同作品の企画・運営をしたり、代表委員会の児童がテーマを考えたりするなど、子供たちが参画しています。

11月25日(土)の鑑賞日には、貝取小学校の「実りの秋」「芸術の秋」をごゆっくりお楽しみください。ご家族の皆さま、地域の皆さまのお越しを心よりお待ちしております。